

藝 振



大分県芸術文化振興会議

No.115

平成16.3

もくじ

芸術文化の躍動する時代	1
第5回県民芸術文化祭賞受賞行事及び団体	2
第5回県民芸術文化祭賞大賞受賞行事	3
第5回県民芸術文化祭賞特別賞受賞行事	4
平成15年度基金事業報告	5
芸術文化振興事業	5
H16.4～9月開催予定の補助事業	6
大分県文化年鑑2003	6
加盟団体活動紹介	7
事務局だより	8

発行人：脇 正人 編集人：榎本謙司 (題字：平 滋賢)



芸術文化の躍動する時代

大分県立芸術文化短期大学

学 長 利 光 功

今世紀の冒頭の平成13年に「文化芸術振興基本法」が制定、施行されましたが、この基本法は画期的な意義を有しています。これまで芸術文化に関心を抱き、それを創作したり鑑賞したりして楽しむことは、いわばその人の個人的な事柄であり、その人が好きで勝手にやることであるとされてきました。ところがこの基本法では、芸術文化を「創造し、享受することが人々の生まれながらの権利であることにかんがみ」(第2条)と、私どもの基本的な権利であると認めています。そして国が芸術文化の振興を正式に打ち出したのです。この4月に大分県が文化振興条例を制定するというのも、この流れに沿うものでしょう。ここから21世紀は芸術文化の躍動する時代になると思われます。心を豊かにするもの、それが芸術文化ですから、そのような時代のくることを願っています。

ところで大分県芸術文化振興会議は今年設立40周年を迎えるとのこと、これは私には大いなる驚きでした。かくも早い時期から数多くのさまざまな芸術文化団体が合い寄り、芸術文化の振興を図ってこられたことに敬意を表します。大分県に芸術文化活動の40年の輝かしい歴史があることは、大変心強く思います。と申しますのは、私が昨年4月学長に就任しました県立芸術文化短期大学では、広大な芸術文化の領域のなかの一部、美術と音楽しか教えておりません。そこで芸術文化振興会議のメンバー団体や個人の方には、わが短期大学におり来ていただいて、学生にさまざまな分野の芸術文化について指導していただきたく願っています。また私の方からそのようなことをお願いしたいと思っています。ただご承知のように県の財政がピンチですから、謝礼は出ません。それでもよいという奇特な方がいらっしゃるであろうと、虫がいいことを考えております。



桑原賢治 (県美協会員)

平成15年度芸術文化関係受賞者等一覧

文部科学大臣表彰・地域文化功労者 脇 正 人 (大分県芸術文化振興会議会長)
 大分県知事表彰・企画文化関係功労者 中沢 とおる (大分県民演劇制作協議会)
 大分県番傘川柳連合会 (代表 佐藤真砂延)
 大分県合唱連盟 (代表 宮本 修)
 久留島武彦文化賞 佐々木均太郎

第5回大分県民芸術文化祭賞受賞行事及び団体

賞	受賞行事	受賞団体	理 由
大 賞	地域文化フェスティバル 瀧廉太郎没後100年記念 全曲演奏会	瀧廉太郎没後100年 記念事業実行委員会	瀧廉太郎没後100年の節目に、その全作品48曲を演奏するユニークな企画により、郷土の誇りである瀧廉太郎の業績を再確認するとともに、地元の子どもたちから、市内外の合唱団、瀧廉太郎記念音楽祭声楽コンクール受賞経験のある一流の音楽家まで、総勢409人が参加する大規模なコンサートを綿密な舞台構成により成功させた。
奨励賞	若者文化イベント やかた招待音楽祭	やかた招待音楽祭 実行委員会	地域の小学校で開催されてきた伝統ある音楽祭を、廃校になっても絶やすことなく地域の行事として続けていこうと開催された。町内外の出演者に加えて、PTA歴代役員で結成したバンドも熱演し、音楽を通じて交流を深めることのできる心温まるコンサートを行った。
奨励賞	中幕行事 Jazz Academy in Oita ～渡辺貞夫with Swing Echoes	スウィング・エコーズ・ジャズ・オーケストラ	世界的なジャズサクソプレイヤー渡辺貞夫氏を招き、県内の小・中・高校生のプラスバンドが指導を受ける「クリニック」を実施するなどして、子どもたち、若い人たちへの教育に貢献した。コンサートでは、渡辺氏との共演を通して、音楽の楽しさを伝えることに成功した。
奨励賞	閉幕行事 大分マンドリンオーケストラ 創立50周年記念 第17回定期演奏会	大分マンドリンオーケストラ	大分県にちなんだ創作曲の発表や、中央の優れたマンドリン団体との共演により、創立50周年記念事業にふさわしい、華やかで重厚壮大なコンサートを開催し観客を魅了した。
奨励賞	共催行事 第13回 大分の書を求める・豊墨会展	大分の書を求める 豊墨会	「未来に残したい大分の自然」を統一テーマに掲げ、22人の書家が、大分の豊かな自然をのびのびと個性豊かに表現し、日本の伝統ある「書」の多様な魅力を提示した。
奨励賞	共催行事 第35回大分県川柳大会	大分県番傘川柳連合会	永年にわたり、大分県の短文学の振興と発展に貢献した実績のもとに、35年の節目にふさわしい充実した大会を開催した。
奨励賞	地域文化フェスティバル 第3回 ゆふいんこども音楽祭	ゆふいんこども音楽祭 実行委員会	通常、コンサートに敬遠されがちな小さな子どもたちに、生の音楽に触れる貴重な機会を提供している。子どもたちが飽きないよう「リズム遊び」などを取り入れるなど、さまざまな工夫を凝らしながら、大人も共に楽しめる質の高いコンサートを実施した。
奨励賞	参加行事 第40回大分県児童文化祭	大分県児童文化研究会	40年にわたり、子どもを対象とした童話の口演や紙芝居、人形劇などバラエティに富んだ内容の巡回公演を行い、子どもたちの情操教育に多大な貢献をした。
奨励賞	参加行事 第40回山香町総合文化祭	山香町文化連盟	地域の文化活動の集大成となる行事として町民に定着しており、永年にわたり地域文化の振興に多大な貢献をしている。回を重ねるごとに大きく発展しているが、今回は、40周年にふさわしく、充実した内容の展示、公演を行った。
奨励賞	参加行事 スタジオ開設25周年記念 後藤智江舞踊公演	後藤智江モダンダンススタジオ	真っ白な氷河のように純真無垢で争いのない世界をイメージした創作作品「アラスカ～野生の女」を上演し、自然との共存の大切さを観衆に訴えるとともに、フラメンコダンサーや書家、太鼓との共演による新しいイメージの舞台を創り上げた。
特別賞	閉幕行事 ミュージカル 「星生山の星太郎」	九重創作ミュージカル実行委員会	100名以上の九重町民が制作スタッフ、キャストとして参加した。出演者は、演技、歌、踊りとも高い技量が要求されるミュージカルの舞台にあって豊富な練習量に裏付けされた自信あふれる演技で、観客を圧倒した。舞台装置、衣装、小道具も完成度が高く、町民が一体となって芸術性の高い作品を創り上げた。



「瀧廉太郎作品全曲演奏会」 大分県民芸術文化祭賞大賞を受賞して

瀧廉太郎没後100年記念事業実行委員会
会長(竹田市長) 阿南 馨

瀧廉太郎が没して100年、今もお瀧廉太郎の作品は多くの人々に歌われ、そして心の中に生き続けている。僅か23歳と10ヵ月という若さで世界した彼の作品は全て数えても50に満たない。しかし、その多くは1世紀を超えて歌い継がれている。

竹田市では記念となる顕彰事業を行うことを平成13年の10月に決定し、没後100年にあたる平成15年にコンサートや企画展示、演奏会など10本の事業を行ったが、全曲演奏会は他の事業と異なり立ち上げに手間取った。過去の例を幾つか調査したが、地元実行委員会レベルでは到底手に負えない規模と人(専門家)を要している。

しかし、実行委員会としては竹田でしか出来ない演奏会にこだわって当初の計画を立てた。

まず全作品を構成に盛り込み、出来るだけ原曲のまま演じること。そして、それぞれの作品をより多くの人に分担していただき、地元の子どもたちから一流の演奏家までを一つの舞台に仕上げることにした。これらを踏まえて演奏会の骨格となる全体構成を辛島光義先生にお願いし、同時に音楽監督も担当していただいた。また、台本の監修については松本正先生にお願いした。

万全とは言い切れない状況であったが、11月9日午後1時に本番を迎えた。すでに会場は満席となり立見客が出るほどで、市外、県外から多数の観客を迎える中、演奏会に総勢409名が出演、あらためて瀧廉太郎の作品のバリエーションには驚かされた。

詩の朗読、合唱、斉唱、独唱が行われ、また内容的にも幼稚園唱歌から組歌まで幅広く、さらにピアノ曲が加わるなど観衆は全く飽きること知らなかった。予想を遙かに超える盛り上がり出演者、スタッフともに満足感で満たされると共に、観客からも好評をいただいた。

その余韻がまださめ切れない12月初めに、第5回大分県民芸術文化祭賞大賞に選ばれたとの連絡を受け、思いもしない受賞に驚きと喜びがさらに倍増した。またそのことが大きな自信となり、この事業に参加していただいた方への最高のお礼となった。

瀧廉太郎は音楽のまちづくりの大きな柱であり、地域文化の発展のため、これからも市民はもとより県民の皆様方のご支援を賜りたい。



H15.11.9 竹田文化会館大ホール



官民一体のとりくみ 小さな町の大きな夢舞台、ありがとう！

九重町民劇場
代表 竹尾 友彦

町民の待望久しかった文化センターの建設、落成記念こけら落としに町民手づくりのミュージカルをやるとうととてつもない夢を企画した。人口わずか12,000人の小さな町の素人集団が、狭間先生にご紹介をいただいた今は亡き安永学長をはじめ、中沢氏、清末氏、十時氏、岡野氏、千葉氏、多くの文化をこよなく愛する先生方のご指導を賜りながら九重に伝わる民話伝説「朝日長者物語」をミュージカルとして誕生させた。「朝日長者物語」は文化センターのこけら落とし、第1回の大分県民芸術文化祭で大成功を収め、栄えある大賞を受賞することができた。ここからすべてが始まった。町民有志により九重町民劇場を結成し、劇団としての初舞台の「九重の風はうたう」は第2回大分県民芸術文化祭で奨励賞を受賞。この喜びと感動は、次の作品へのエネルギーを与えてくれた。

そうして出来上がった創作ミュージカル「星生山の星太郎」は、第5回の県民芸術文化祭で開幕を飾ることになった。会場は、大分県立総合文化センター・グランシアタ。「一度はこの舞台で演じてみたい」役者にとってはまさに夢の舞台。夢を実現させるためには演出家、仲間たち、そして自分自身を信じてとにかく「しらしんけん」練習するしかない。グランシアタの舞台の広さに慣れるために地元の小学校の体育館をお借りした。夏の夜の練習では閉めきった部屋の室温は30度をはるかに超えた。ダンスになると額からは玉のような汗が無数に流れ落ち、呼吸もままならない。それでも踊らないと不安で仕方ないのであろう。

たくさんの方のみなさんの拍手の中、幕は下りた。今回の特別賞の受賞は、舞台づくりに取り組んで以来、継続活動8年、通算12回の公演を通してなした結果であり、なによりみんなの努力が報われたことがうれしい。これからも心豊かな文化の創造を目指して楽しく官民が一体となり、夢を描いていきたい。やる気をもって町の人々の心がひとつになれば、たとえ小さな町でも大きな夢を叶えることが必ずできる。

最後に大分県並びに九重町、ご鑑賞いただいた皆様をはじめ、関係各位に感謝の誠をささげます。



ミュージカル「星生山の星太郎」 H15.10.5 グランシアタ

種別	市町村名	鑑賞者数	会場名	実施日	公演団体
ファミリー 芸術劇場	上 浦 町	138	上浦町中央公民館	7月26日(土)	大分マンドリンオーケストラ
	豊後高田市	403	豊後高田市中央公民館	11月30日(日)	大分県県民オペラ
学 校 巡 回 公 演	山 香 町	46	山浦小学校	5月27日(火)	カサ・ア・ギターラ
	久 住 町	146	久住中学校	7月17日(木)	YOの会
	津久見市	68	日代中学校	10月16日(木)	大分県県民オペラ
	挾間町	850	はさま未来館	10月16日(木)~24日(金)	高山辰雄賞ジュニア県美展巡回展
	津久見市	162	千怒小学校	10月28日(火)	大分県三曲協会
	津久見市	302	青江小学校	10月30日(木)	ハンドベルリンガーズ
	日 田 市	222	若宮小学校	11月20日(木)	YOの会
	直 入 町	46	下竹田小学校	11月14日(金)	大分大学マンドリンクラブ
	武 蔵 町	300	武蔵町中央公民館	2月 8日(日)	大分県三曲協会
文 化 キ ャ ラ バ ン	三 光 村	180	三光村中央公民館	5月 3日(土)	大分県人形劇サークル協議会
	緒 方 町	213	緒方町中央公民館	10月 3日(金)~25日(土)	大分県人形劇サークル協議会
	国 東 町	2,300	国東町中央公民館	11月18日(火)~24日(月)	大分県美術展秀作展(写真部会)
	山 香 町	112	山香町役場タウンホール	11月22日(土)	グループUNO



山香町役場タウンホール H15.11.22



山香町山浦小学校 H15.5.27

昭和60年に始まり、団体会員のご協力で県内各地で多くの人に鑑賞され喜ばれてきた大分県芸術文化基金事業、芸術鑑賞事業(ファミリー劇場・学校巡回公演)、文化キャラバンは平成16年度から芸術文化振興事業として一本化し、下記の要領に基づいて実施することになりました。平成16年度についてはほぼ計画が固まりました。今後多くの団体会員の公演希望をお待ちしています。

芸術文化振興事業実施要領

- 1 趣 旨 県民が芸術文化に身近に触れることができるより多くの機会を提供し、芸術文化に親しむ環境づくりに貢献するとともに、県内の芸術文化活動を支援する。
 - 2 事業内容 ①公演事業(演奏会、講演会、講習会、演劇等)
②展示事業(絵画展、書道展、写真展等)
③その他の芸術文化事業
 - 3 公演者 公演を希望する加盟団体会員。
 - 4 開催場所 原則として県内の公的文化施設及び学校施設。
 - 5 主催者等 原則として大分県、大分県教育委員会、大分県芸術文化振興会議及び開催地主催者。開催地主催者とは市町村、市町村教育委員会(小学校中学校及び高等学校)、公立文化施設、文化団体をいう。(実行委員会を含む)
 - 6 事業に要する経費の負担区分
①大分県芸術文化振興会議は公演者への謝金を負担し、開催地主催者はその他必要な経費を負担する。
②入場料収入は開催地主催者に帰属する。
- 附 則 この要領は平成16年度事業から適用する。

H16.4～9月開催予定の補助事業

実施時期	事業名	会場	主催団体
4月4日	アンサンブルOITA定期演奏会	大分県立芸術会館	アンサンブルOITA
4月6日～11日	第18回二科会大分県支部写真・デザイン公募展	大分県立芸術会館	二科会大分県支部
4月及び6月	第8回大分県子ども舞台芸術フェスティバル	県内	大分県子ども劇場連絡会
5月8日	第29回九州マンドリンフェスティバル	由布院青年の家	大分マンドリンオーケストラ
5月25日～30日	04春季大分県美術展	大分県立芸術会館	大分県美術協会(日洋彫工)
5月	第52回短歌大会	大分文化会館	大分県歌人クラブ
5月上旬～中旬	2004年春季公募展 大分県美術展書道展	大分県立芸術会館	大分県美術協会(書道)
5月中	2004年春季県美展写真展	大分県立芸術会館	大分県美術協会(写真)
5・6月頃	YOの会記念演奏会	音の泉ホール	YOの会
6月14日	花の会ジョイントコンサート	音の泉ホール	花の会
6月26、27日	第27回全日本合唱おかあさんコーラス九州支部大会 第27回全日本合唱おかあさんコーラス九州支部大会	グランシアタ 大分市	合唱団「藍」 女声コーラス「朝日」
6月	第31回行動大分作家展	大分県立芸術会館	行動大分作家協会
6月頃	第27回公演	NHKスタジオホールキャンパス	劇団OTC
7月25日	第51回歌帖社全国短歌大会	豊泉荘	歌帖社
7月	第49回蒼土展 第28回大分県マンドリン連盟フェスティバル	大分県立芸術会館 はさま未来館	蒼土会 大分県マンドリン連盟
8月10日	滝廉太郎記念コンクール	音の泉ホール	大分音楽研究会
8月22日	第17回大分県少年少女合唱祭	大分県立芸術会館	大分県少年少女合唱連盟
8月28、29日	第27回全日本合唱おかあさんコーラス全国大会	横須賀芸術劇場	エリカプラウエングール
8月29日～9月5日	別府市美術協会50周年記念 第47回別府市美術展	別府アリーナ	別府市美術協会
8月中旬	2004大分二紀展	大分県立芸術会館	大分二紀会
8月～11月	創作舞踊研究会 第19回公演 LIGHT MUSIC FESTIVAL 2002	かんたん倶楽部か NHKキャンパス	創作舞踊研究会 大分県軽音楽連盟
8月21、22日	第40回大分県人形劇フェスティバル	佐伯市保健福祉総合センター	大分県人形劇サークル協議会
8月上旬	第14回日韓現代絵画交流展	アートプラザ	日韓現代絵画交流展実行委員会
9月7日～12日	04大分自由美術展	大分県立芸術会館	大分自由美術
9月12日、11月3日	第32回大分県音楽コンクール 予選会本選会	大分県立芸術会館	大分県音楽協会 大分ジュニアオーケストラ
9月19日	萬謡会民謡フェスタ2004	大分市能楽堂	萬謡会
9月頃	第34回りぶの会展	大分県立芸術会館	りぶの会
9月10日～12日	第59回九州合唱コンクール	熊本県立劇場	大分市民合唱団ウィステリアコール

この開催予定は平成15年10月31日現在のものです。詳しくは主催団体におたずねください。

大分県文化年鑑2003

今年2月17日、国文学者の佐々木均太郎先生が逝去されました。先生は万葉集の研究、児童文学の推進、連句の普及、県民芸術文化祭オープニング詩劇の原作など幅広く文学の世界で活躍され、大分県の文化に貴重な足跡を残されました。また、31年間「文化年鑑」の編集に携わり文芸部門編集委員で小説・連句の執筆を担当されてきました。長い間の幅広いご活躍に心から感謝いたします。

大分県文化年鑑は昭和45年度に「大分県文化団体名簿」として発行し、翌昭和46年、1971年から文化年鑑として毎年刊行を重ね、現在「2003年版」の執筆を一覧の編集・執筆委員によりすすめています。

今号から小説、現代詩、連句、オーケストラ、作曲、軽音楽、高校演劇の各部門を新しい執筆委員が担当されることになりました。よろしくお願ひします。文化年鑑編集委員会 編集総括 中野 幸和

大分県文化年鑑編集・執筆委員一覧

ジャンル	氏名	ジャンル	氏名	ジャンル	氏名
文芸部門編集委員	後藤 惣一	執筆委員 写真	河野 公記	執筆委員 洋舞	佐藤 朱音
執筆委員 小説	後藤 惣一	〃 デザイン	波多野義孝	〃 日舞	花柳笹之丞
〃 現代詩	長谷目源太	音楽部門編集委員	辛島 光義	〃 民踊	伊坂 香里
〃 短歌	伊勢 方信	執筆委員 声楽	堤 俊博	演劇部門編集委員	中沢 とおる
〃 俳句	浅倉 寒月	〃 室内楽	辛島 光義	執筆委員 自立演劇	清末 典子
〃 現代俳句	足立 雅泉	〃 吹奏楽	斎藤 哲哉	〃 高校演劇	飯田 昭一
〃 川柳	猪俣 香童	〃 オーケストラ	渋谷 統	児童文化部門編集・執筆委員	首藤 悦爾
〃 連句	中森 順和	〃 作曲	倉野 洋子	能楽部門編集・執筆委員	緒方 基秀
〃 俚謡	土屋 北彦	〃 合唱	宮崎 彰	生活文化部門編集・執筆委員	編集事務局
美術部門編集委員	日名子金一郎	〃 オペラ	小長 久子	文化財部門編集・執筆委員	江田 豊
執筆委員 洋画	渡辺 恭英	〃 軽音楽	上田 耕作	表紙デザイン	久保木真人
〃 日本画	鈴木 忠実	〃 邦楽	野仲 矢山	仕切紙カット	池部 俊之
〃 彫刻	柚野 朝男	〃 民謡	安東 陽	編集事務局	中野 幸和
〃 工芸	佐藤 武郎	〃 吟界	福永 龍彦	〃	辛島 光義
〃 書道	平 晟齋	舞踊部門編集委員	佐藤 朱音	〃	久保木真人



「地域の芸術・文化の振興」
—別府市美術協会創立50周年を迎えて

別府市美術協会 会長 木村 昌斗志

「別府市に居る美術の道に志す人々が力を合わせて美術に対する理想や技術を手をたずさえて勉強しよう」を設立趣意に、「文化都市別府の育成」を旗印として、「別府市美術協会」は、昭和29年10月9日に結成されました。12月には設立記念「別府美術展」を開催し、翌年には、待望の『第1回 別府市美術展（市展）』を開催しています。企画・運営を市美協が主体的に行う美術展がスタートしました。昭和49年には「五美会展」を加えて毎年開催しています。

別府市美術協会は、16年10月には創立50周年を迎えます。結成以来、幾多の試練の星霜の中で、今日まで、別府市の芸術・文化の振興の中核であり続けた半世紀を飛躍台に、更なる発展を期して、別府市に芸術・文化を楽しむ、芸術・文化の華をさかせたいと願い、15年度には、市内の小中学生を対象にした「巡回講座」をスタートさせ、16年度には、「第47回別府市美術展」、「ジュニア市美展」、「別府市美術展のあゆみ」、「記念誌」発刊と記念事業を展開します。



第46回別府市美術展表彰式

足元の歴史こそ未来への活路

大分県地方史研究会 会長 豊田 寛三

本会は「県内各地の地方史研究者、研究団体及び中央学会並びに他都道府県の同種学会との連絡を密にして、日本史学の基礎たる地方史の研究を推進することを目的」に昭和29年6月に発足し、今年創立満50年を迎える。この間、研究成果の最大の発表の場である機関誌「大分県地方史」を発行し、現在190号を数える。また、毎月古代・中世史、近世史、近代史の研究部会を輪番制で開催するとともに、毎年の大会では会員の研究発表及び公開講演会を実施し、大分県の歴史研究に寄与してきた。50年という歴史と共にその活動実績は他都道府県の地方史研究団体に負けないと自負している。

会員は現在約300名。高齢化が進み、若い世代の会員が少ないことが悩みの種であるが、混迷を極める現代において、自分たちの地元である地方史の掘り起こし、研究こそが未来への展望を切り開くことを信念に活動をさらに継続していきたい。

事務局だより

会費納入のお願い

平成16年度会費の振込用紙を同封していますので、納入をお願いします。
また、未納会費のある会員には3月初めに納入のお願いと振込用紙をお送りしています。なるべく早く納入してください。なお、規約により会費の滞納が2年になると自然退会となりますので、ご注意ください。

団体代表・事務局等の交替は届け出を

団体事務局の所在地、代表者、事務局等に変更がありましたら、芸振事務局までお知らせください。できるだけ文書でお願いします。メール・FAX可。

通常総会のお知らせ

平成16年度通常総会は平成16年6月17日（木）県共同庁舎14階大会議室で開催の予定です。別途ご案内をします。会員皆さんの出席をお願いします。

40周年記念事業企画委員会

記念事業特別公演は10月10日（日）於グランシアタの予定でNo.114号でもお知らせした方向で計画を進めています。さらに記念式典、文芸部門、美術部門を含めた記念事業の具体的な計画の検討に入ります。

115号にはこの時期掲載することになっている平成15年度海外派遣研修報告を掲載していません。これは研修予定時期に研修地北京がSARSにより渡航を控えた方がよい地域に指定されていたことで、派遣時期が16年度に延期になったことによるものです。今回は文化祭特別賞受賞行事を掲載しました。

新 会 員 紹 介

■団体会員

部門	団体名	事務局所在地	代表者氏名	事務局長氏名	団体の目的	会員数	設立年月日	設立後の経過
音楽 91	男声合唱団 南蛮コール	■■■■■ ■■■■■ ■■■■■	國家俊作	國家俊作	男声合唱の魅力 を追求し、その 素晴らしさを広 く伝える。	40名	平成8年 5月1日	平成9年から毎年、女声合唱やハンドベル、独唱、独奏等々とチャリティー・ジョイント・コンサートを開催している。 また、平成13年音の泉ホールに於いて第1回演奏会を開催し、以後毎年演奏会を開催している。

■個人会員

氏 名	住 所	部 門
渡邊舜多郎	■■■■■	音 楽

文化芸術活動に対する寄付金を集めやすくなります！

文化振興課内に社団法人企業メセナ協議会（※）の「助成認定制度（※）相談窓口」を開設しました。この制度により、大規模な芸術文化活動を行う方は寄付金を集めやすくなります。窓口ではお問い合わせに対応するとともに、パンフレットや申請用紙を常備しております。

担当：県企画文化部文化振興課 佐倉 TEL 097-536-1111 (2057)
FAX 097-532-8507

※企業メセナ協議会…企業によるメセナ（芸術文化支援）活動の推進を目的として、1990年に発足した公益法人です。
※助成認定制度の詳細は、（社）企業メセナ協議会ホームページ【<http://www.mecenat.or.jp/>】の「助成認定制度」のページをごらんください。